



稲沢市議会議長に服部氏

市議会の役員改選等が行われ、議長に**服部猛氏**(平和5期)、副議長に**東野靖道氏**(下津3期)、議会選出監査委員は**曾我部博隆氏**(祖父江4期)が就任されました。(以下、敬称略、○内は期数、順不同)

総務委員会	委員長 柘本敏子⑤	副委員長 平野賀洋子①				
服部 猛⑤	長屋宗正⑤(議連正)	曾我部博隆④	吉川隆之③(議会改革副)	津田敏樹②	富田和音①	黒田哲生①
文教厚生委員会	委員長 木全信明③	副委員長 岡野次男①				
野々部尚昭⑦	木村喜信④(広報広聴副)	東野靖道③	加藤孝秋③(議会改革正)	(広報広聴副) 服部礼美香②	北村太郎①	平床健一①
経済建設委員会	委員長 網倉信太郎④	副委員長 近藤治夫①				
星野俊次⑤	出口勝実⑤	六鹿順二④	大津文敏③	志智 央②(議連副)	杉山太希①	

祖父江ぎんなんパーク

祖父江町商工会が設立60周年を迎える中、愛知・稲沢の観光資源を代表する祖父江の銀杏の PR と憩いの場である山崎駅東側の**祖父江ぎんなんパーク**には銀杏の代表品種、久寿 藤九郎 栄神 金兵衛の4品種58本や2つの広場、展望丘などが整備されています。今年のイチョウ黄葉まつりは中止ですが感染対策の上、是非パークへお出掛け下さい。



稲沢市初のクラウドファンディング

稲沢市ではクラウドファンディング「不幸な猫を増やさないために！稲沢市飼い主のいない猫の避妊推進プロジェクト」による野良猫の避妊去勢手術の補助を今年度から実施しており中日新聞尾張版に掲載されました。市では地域猫活動の推進も図って行きたいとのこと。新政あいち県議団では代表質問や知事要望にも殺処分ゼロなど動物愛護を取上げています。



高額寄付をされ加藤市長から感謝状が贈られた福田さんと駒田さん
=稲沢市役所ですてっぷ動物病院の福田伶奈さん(写真は「不幸な猫ちゃんが増えない」と願いました。)
中日新聞9/10より

新政あいち県議団議会改革PT

事務局長を務める新政あいち県議団議会改革プロジェクトチームで委員会のインターネット中継について名古屋市議会を訪問し導入の背景及び目的、経費などを調査しました。議会改革度調査の総合ランキング2018では愛知県は47都道府県の中39位です。



連合愛知尾張南地協政策要望書作成会議

稲沢市への要望書を取りまとめる会議が地協三役幹事、木全、星野、岡野各市議の皆さんとオンラインで実施され、避難所の運営や交差点・防犯灯など子供の安全確保、生徒と同じ制限を受ける教師のタブレット端末利用、子育て・不妊治療など意見交換しました。



稲沢三宅地区(平和)企業団地2期

県企業庁が市から造成工事の委託を受けた企業団地(7ha6区画全て完売)で一部操業開始。経済・産業活動の回復が待たれますが、平和町商工会(松岡氏から水谷新会長に)は積極的な取組により県内57商工会の中で**会員事業者の増加率がトップ7**の成績でした。



斎藤よしとか参議院議員団研修会

新政あいち県議団の研修会として斎藤よしとか参議院議員から国政の現状と今後について講演頂き意見交換しました。コロナの緊急提言やカーボンニュートラル、教員免許、35人学級など幅広く勉強させて頂き、鈴木からは学校統廃合の支援策をお願いしました。



●マイナンバーカード GETしました！

愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいち県議団

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

岸田総理誕生 10月31日執行 解散総選挙

愛知県では8月27日から9月30日までの**緊急事態宣言**に対しオール愛知で感染防止対策に取り組むことにより8月27日に過去最多2,339人を記録した新規陽性者数は減少に転じ9月24日に指標もステージⅢと減少傾向を示し、国は緊急事態宣言を9月末をもって解除しました。県としては段階的な制限緩和が必要と考え**厳重警戒措置**を10月17日まで引続きの取組を県民の皆様にお願しました。

臨時議会も2回開会され今年度のコロナ関連予算6,848億円、累計1兆1,387億円です。さて10月8日は木材利用促進の日(漢字の「木」が「十」と「八」、10月を木材利用促進月間と新たに制定されましたが、議員提案で愛知県木材利用促進条例も成立しました。総選挙が10月19日公示、31日投開票と早まりました。**Let's vote!**(投票に行こう!) 改選後は国難を乗り越える建設的な国会を!

10月12日閉会の9月定例県議会では、医療体制の確保など第148号議案一般会計補正予算192億円(内コロナ関連102億円(特別会計含む))、緊急事態宣言の延長に対し協力金など第190号議案同485億円、厳重警戒措置に対し第191号議案同326億円などをはじめ全ての議案について可決・同意しました。8月には



朝倉事務局長 森井会長代行 会長鈴木 大村知事 塚本、富田、黒田の各顧問



理事者側は大村知事 矢野経済産業局長 松川中小企業部長

中小企業振興議連設立

新政あいち県議団の中小企業振興政策推進議員連盟の設立報告及び意見交換のため知事公館に大村知事を訪ねました。コロナ禍の厳しい中仲間と共に確りと活動してまいります。●**未来へつづきまちづくり**へ一生懸命働きます。

中日新聞令和3年8月5日県内版に掲載

これまで地元企業から各議員に要望や意見が個別に出されていたが、任期中に継続して活動するためには組織として意見集約し、各団体と関係を構築する必要があることになった。メンバーは十八人。
鈴木会長は「さまざまな課題に対して中小企業振興の一助になるよう積極的に取り組む」と述べ、大村知事は「いろいろな情報を集めて政策に練り上げ、私どもにご指導いただきたい」と話した。

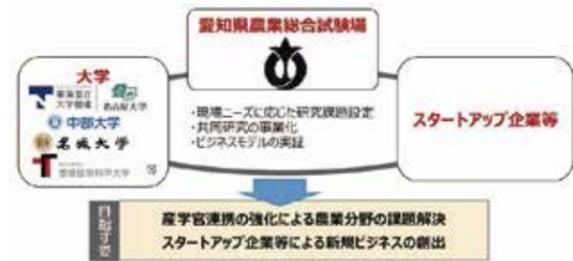
愛知県議会議員 (稲沢市選出)

すすぎ



農林水産委員会県内調査+

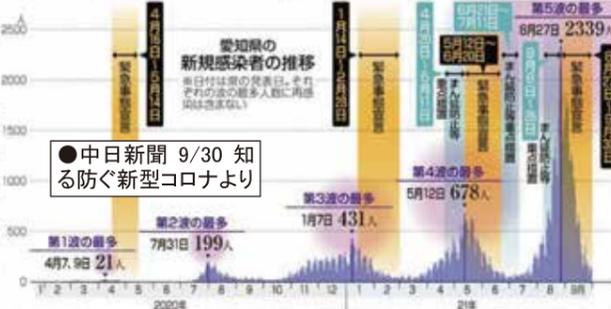
農林水産委員会の県内調査で県産木材の利用促進としてクラウドで木造化を実現し、あいち木づかい優秀賞を受賞した名古屋市緑区のおぞら学童保育クラブ及び県農業総合試験場を訪れました。試験場は4月に研究戦略部・普及戦略部を設置し試験研究基本計画2025で定めた4つの重点研究目標に基づいて研究を実施しています。スマート育種を活用した品種開発(ex ミネアサヒ SBL)の推進について意見交換後、植物育成温室、イチジクの選抜ほ場を見学しました。



県では総合試験場と県内大学、新しいアイデアや先端技術を持つスタートアップ企業等との産学官の連携強化によって、新品种・新技術の開発を進めるとともにカーボンニュートラルやコロナ禍に対応するサプライチェーンなど農業分野の新たな課題に対応するための農業イノベーション創出(あいち農業イノベーションプロジェクト)に向け成立した9月補正予算に基づき共同研究テーマやスタートアップ企業のシーズなどの調査を実施します。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

9月に開催された特別委員会では入院病床が1,722床+α、うち重傷病床183床、入院待機ステーション(20床、但し利用なしで休止)、宿泊療養施設6施設、1,628室、大規模集団接種会場7カ所、1日8千~1万人規模に加え若者向けに菜に開設など報告を受けました。鈴木からは職域接種は100万回を超えているがVRS登録が3割の現状と陽性者の中で10歳未満の割合(7.5%)の増加傾向について質しましたが対応は道半ばです。



アジア競技大会調査特別委員会

2026年9月19日(土)~10月4日(日)の16日間開催される4年に一度のアジア最大のスポーツの祭典「第20回アジア競技大会」の議論を深める特別委員会で名城大学の松本幸正教授に、メインの選手村が造られる名古屋競馬場跡地の開催後の港北エリアのまちづくりについて講演を頂きました。委員会終了後には歩行者空間や街路樹の活用(植木のまち稲沢-松本教授は国府宮の再開発にも尽力)など意見交換させて頂きました。



ステーション AI プロジェクトの推進

(1)ステーション AI の整備...名古屋市昭和区鶴舞1丁目に地上7階約2万3千㎡ 2024年10月運用開始

あいちスタートアップ・エコシステムの形成に向けて支援拠点ステーション AI の整備・運営事業者のソフトバンク株式会社(協力企業:石本建築、フジタ、DMM.com 他)と事業契約(PFI手法BTコンセッション方式約143億円、運営権対価2.55億円)を締結しました。

(2)プレ・ステーション AI の運営

WeWork グローバルゲート名古屋で関連事業を集中的に展開

(3)海外連携の推進

世界最高水準の500 Startupsによるアクセラレータプログラムの展開/テキサス大学、シンガポール国立大学、ステーション F 等との連携/あいち・なごスタートアップ海外連携促進コンソーシアムの運営

(4)スタートアップへの支援 (5)スタートアップ・サテライト支援拠点設立の促進



県立高等学校再編将来構想(仮称)

●愛知県の中学校卒業見込み者数の推移 ●2021年度の県立高校の欠員

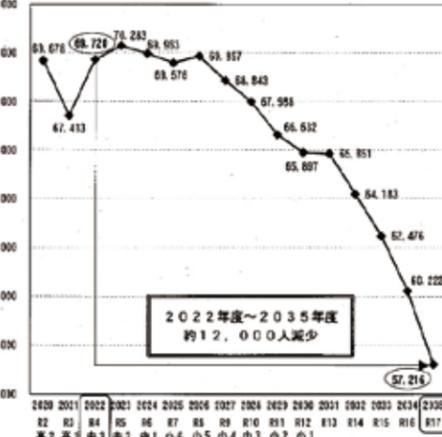
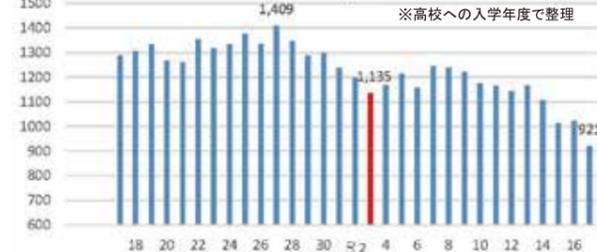


Table showing the number of vacant positions in public high schools in Aichi Prefecture for 2021, categorized by school type and region.

全日制課程への進学率の低下や、私立高校の授業料無償化の影響などもあり県立高校の欠員が2,625人と昨年より千人以上多い過去最多となるなど県立高校を取り巻く環境が大きく変化し、また中学校卒業者が2030年代半ばまでに約1万人の減少が見込まれるため、計画期間を2035年度(2019年生まれの中学校卒業年度)とした全県的な学校再編将来構想を年内に策定します。

- 交通の便を活かして老朽化校舎を一新
●伝統的にスマート農業など最先端技術を
●祖父江と平和の統合新設校で引続き50年は...と鈴木氏の構想ですが、稲沢東と稲沢高校が近接している点、稲沢高校は定時制棟跡地があるなど気がかりな点もあります。県では県立学校施設寿命化計画の終期となる2029年度までを第1期とし再編を計画的に推進

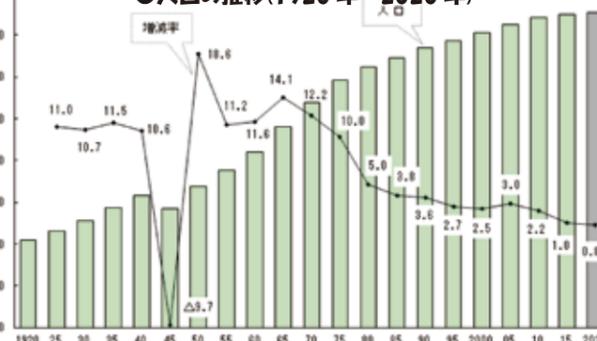
●稲沢市内中卒者の推移(見込み)



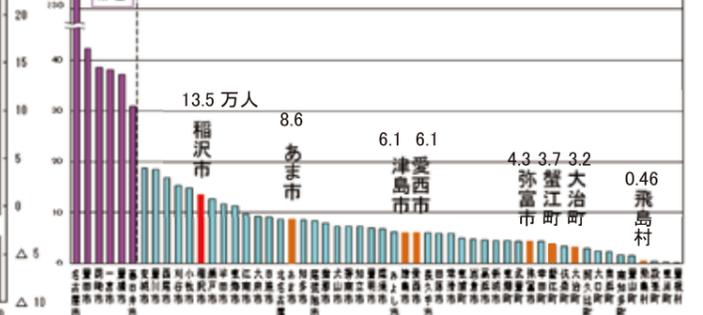
令和2年国勢調査結果速報

昨年ご協力頂いた国勢調査の速報値では2020年10月1日現在の県内人口は754万6,192人で全国4位、前回2015年調査より0.8%増加するも伸び率は鈍化、1950年以降で最低です。54市町村別では32市町村で人口が増加、豊橋市、一宮市、稲沢市をはじめ22市町村は減少です。稲沢市、あま市、一宮市等は前回の増加から今回減少に、逆に飛島村等は減少から増加に転じています。名古屋市は233万人、次いで豊田市42万人、岡崎市38万人、一宮市37万人、豊橋市37万人、春日井市30万人の順で稲沢市は12番目で人口13万4,738人(前回▲2,129人、男性66,400人、女性68,338人、世帯数51,769世帯、1世帯当たり人員2.60人(県全体2.34人)です。

●人口の推移(1920年~2020年)



●市町村別人口(2020年)



●地域別・地域ブロック別人口増減率(2010~2015~2020)

